

(寄稿)

ヘルスケア・マネジメント研究の潮流

～「病院改革に光！プリコラージュという手法」及び

「医療業界でイノベーションが失敗する理由」を読み込む～

社会医療法人は、救急医療やへき地医療など、公益性の高い医療を担う新たな医療法人の類型として、平成 19 年 4 月より制度の施行がなされました。しかし、公益性の高い医療を提供するに相応しい要件及びそれを支える優遇措置などが見えない中、社会医療法人への移行の判断材料がなく、様子見の姿勢をとっていた医療機関も多かったのではないのでしょうか。

そうした中で、平成 19 年 12 月に自民党より公表された「2008 年度税制改正大綱」では、“医療保健事業に関しては非課税扱い、その他の収益事業の税率は 22% (軽減税率)”と、優遇措置が取られました。

これにより、公益性の高い法人として位置づけられ、有力対象候補と見られていた「特別医療法人」(一定期間後制度が廃止予定)及び「特定医療法人」には、社会医療法人化によって、一定のメリットがもたらされる結果となりました。また、社会医療法人は、認可要件として、救急医療などの公益性の高い医療の提供を求められていることから、活発な民営化議論がなされている自治体病院もその有力候補として想定されていると言われています。

今回のヘルスケアノートでは、「ヘルスケア・マネジメント研究の潮流」として、日本福祉大学 福祉経営学部 教授小木紀親氏に「病院改革に光！プリコラージュという手法」と「医療業界でイノベーションが失敗する理由」の 2 つの論文をご紹介いただきました。今後誕生する社会医療法人を安定的に継続させる為には、これら論文で紹介されている組織的マネジメントの確立が成否の鍵となるでしょう。手法の一つとして参考にしていただければ幸いです。

2008 年 1 月 24 日

Healthcare note
(No. 08-03)野村ヘルスケア・
サポート&アドバイザー市川 剛志
(編集主幹)

本レポートと寄稿の骨子

- はじめに
～社会医療法人制度の問題点と課題～
- (寄稿)ヘルスケア・マネジメント研究の潮流 ②
～「病院改革に光！プリコラージュという手法」及び
「医療業界でイノベーションが失敗する理由」を読み込む～
 - はじめに
 - 「病院改革に光！プリコラージュという手法」
 - 「医療業界でイノベーションが失敗する理由」

寄稿者名：

日本福祉大学
福祉経営学部
教授 小木 紀親